

最近の主な取組について(施設設置管理者)

➤大阪モノレールによる取組

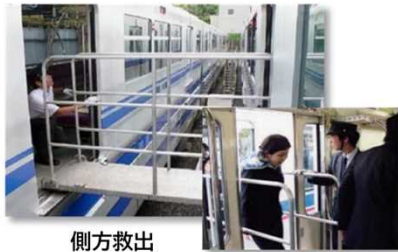
災害時のお客さま救出方法

大阪モノレールでは、自然災害や重大事故等で列車が駅間で走行不能になった場合に備え、列車や駅にお客さまの救出装置を備えています。また、沿線消防にもご協力いただき、消防隊による救出も行います。

- 1) 前後救出・側方救出
救援する列車が故障した列車に連結・横づけして、乗り移っていただく方法です。



前後救出



側方救出

- 2) 降下救出
列車に備えられている脱出シューターや、緩降機を使用して地上に降りていただく方法です。



脱出シューター

シューター内部はらせん状に滑り降りることができる構造になっています。



緩降機（スローダン）

- 3) レスキュー救出
消防隊により、はしご車を使用して列車から地上に降りていただく方法です。



消防隊による救出（はしご車）



災害時における情報発信

2018年に発生した大阪府北部地震の被災経験を踏まえ、【4つの基本ルール】を視点にお客さまへの情報をタイムリーに発信しています。

大前提となる視点【4つの基本ルール】

- ①お客さまの「判断」に役立つ情報をお客さま目線で発信する
- ②お客さまが「判断」するのに役立つタイミングで情報を発信する
- ③社内での情報共有を徹底し、情報を発信する
- ④お客さまの声（不満、疑問）は速やかに社内共有し、意思決定の精度を上げる

上記【4つの基本ルール】に基づき、お客さまが「ご自身の行動を判断」していただけるよう、ホームページ、SNS等のツールを活用してタイムリーな情報発信を行っております。

また、お客さま案内モニタにおいて、緊急時にインバウンドのお客さまにも正確な情報を提供できるよう4か国語に対応しております。「英語」「韓国語」「中国語＝簡体字と繁体字」の充実を図りました。

台風接近時の列車の運転について

現在、通常運転をしています。

台風の接近に伴い、列車の徐行運転や運転を取り止める場合がありますので、予めご了承ください。

Train Services During Approach of Typhoon

Train services are currently running normally.

Please note that due to the approaching typhoon, trains may be running slowly and services may be canceled.

태풍 접근 시 열차 운행에 관하여

현재 정상적으로 운행하고 있습니다.

태풍이 다가오고 있어 열차를 서행 운행하거나 운행을 중단할 가능성이 있으므로 미리 양해 바랍니다.

关于台风接近时列车的运行

现在，列车正常运行。

伴随台风的接近，列车有可能缓慢运行或停止运行，敬请提前知悉并谅解。

多言語表記モニタ例

出典 安全報告書2025

[https://www.osaka-](https://www.osaka-monorail.co.jp/company/safety/pdf/anzen_2025.pdf)

[monorail.co.jp/company/safety/pdf/anzen_2025.pdf](https://www.osaka-monorail.co.jp/company/safety/pdf/anzen_2025.pdf)



➤大阪モノレールによる取組

2025 年度 非常時合同訓練の実施 (2025年11月1日)

1. 実施日時:2025 年 11 月 1 日(土) 0 時 10 分～2 時 40 分
2. 実施場所:公園東口駅付近
3. 参加機関:大阪モノレール株式会社、大阪モノレールサービス株式会社
吹田市消防本部、吹田警察署、大阪府茨木土木事務所
4. 訓練目的:列車が前後に移動できない駅間停車となった場合において、関係機関と連携した乗客救出や復旧作業の習熟度を高め、非常時における対応力を強化する。

5. 訓練内容:

(1)第1部 側方救出訓練

側方救出装置による駅間停車列車の車内乗客救助

(2)第2部 降下救出、レスキュー救出訓練及び高所作業車による点検訓練

①降下救出、レスキュー救出訓練

- ・降下救出(脱出シューター)による車内乗客救助
(聴覚障害をお持ちのお客さま含む)
- ・レスキュー救出(はしご車)による車内乗客救助
(妊娠中のお客さま、視覚障害をお持ちのお客さま含む)
- ・緊急救援作業車による駅間停止列車への応援係員の送り込み
- ・関係機関との情報連携
- ②運転再開に向けた点検訓練
 - ・高所作業車を使用した点検(インフラ点検は道路管理者と連携)
 - ・停電および復電の情報連携

6. 参加者:大阪モノレール株式会社 62 名、大阪モノレールサービス株式会社 13 名、
吹田市消防本部 15 名、吹田警察署 1 名、大阪府茨木土木事務所 3 名
合計 94 名

側方救出(渡り板)



降下救出(脱出シューター)



レスキュー救出(はしご車)

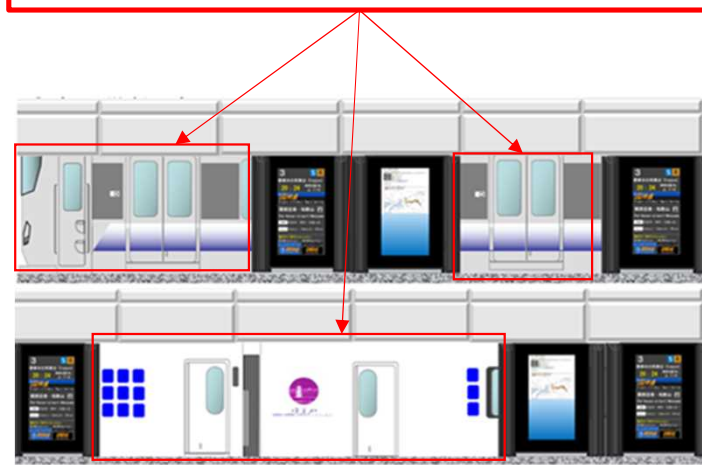


大阪駅（うめきた地下口）におけるフルスクリーンホームドアの乗車位置音声案内システムについて



うめきた21番乗り場

車両のドア位置に応じてサイネージ部を含めて自在に開閉

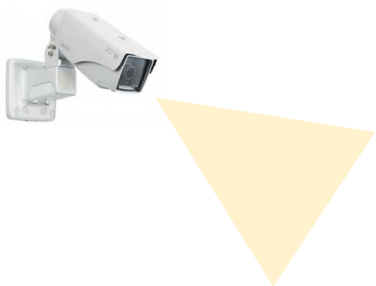


- 視覚情報として、サイネージにて次列車（先発・次発）・乗車位置のご案内を行っている
- 筐体全てが可動部なことから、一般的なホーム柵と異なり点字での乗車位置案内が行われていない。
- ホームドア内蔵スピーカーは、可動部・開口部に対する注意喚起を行っており、システム仕様の兼ね合いから乗車位置案内を行うことが困難

- 視覚障がい者のお客様に対して乗車位置のご案内の拡充ニーズがある状態のため、対応方を検討

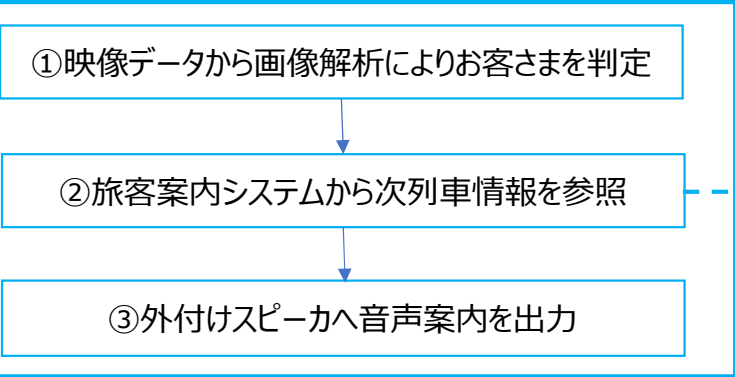
ホーム上に設置されたIPカメラから取得できる画像を活用し、AIによる画像解析技術と組み合わせ、白杖等を所持されているお客様を検知、外付けスピーカに連動させることにより乗車位置案内を行うシステムを試行

IPカメラ（ホーム）



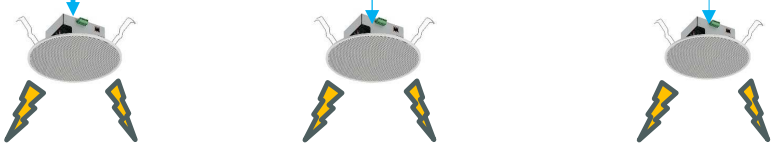
カメラ映像データを
サーバーへ取り込み

社内システムサーバー



外付けスピーカ（ホーム）

次列車の乗車位置案内を音声で出力
例）こちらは特急はるか ●号車付近です



連携困難
X

フルスクリーンホームドア



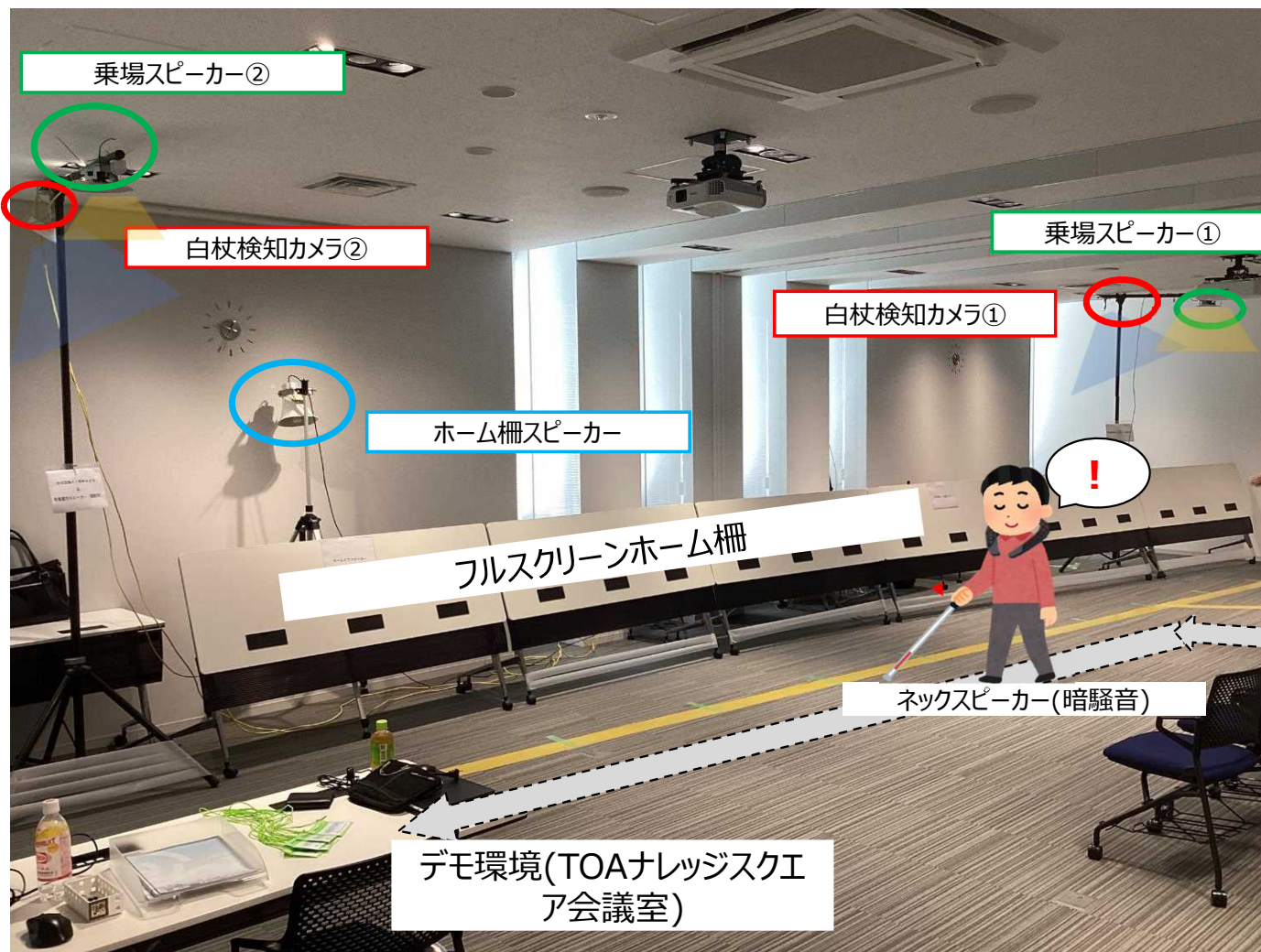
旅客案内システムサーバー

参照

発車標

ホーム
ご案内放送

●2024年9月 デモ環境を作成し、視覚障がい者団体のご協力の下、試行を実施



(試行時のご意見)
・暗騒音があっても案内を聞き取ることができた

・案内の開始時・終了時のサイン音（ピンポン）
を入れた方が、案内の開始・終了がわかりやすい

⇒音声案内の仕様等を見直し

- 2025年12月 うめきた地下駅へスピーカー追加整備が完了。視覚障がい者団体のご協力の下、実環境でご確認をいただく



現地確認会の様子



追加整備したスピーカー

●2025年12月 現地確認会での主なご意見

- ・ホームご案内放送との混声を避けるため、異なる性別での案内が好ましい
- ・列車進入時など、周囲の騒音が大きい際は、スピーカーから出力される音量を上げられるよう調整してほしい
- ・隣接したスピーカー同士での混声はなく、聞き取りやすかった
- ・ホームご案内放送と乗車位置案内放送が同時になると、やや混乱してしまう場合がある

⇒ **いただいたご意見を踏まえ、ご案内情報の精査・システムの改修等を検討
2026年6月より、うめきた（大阪）地下駅 21番のりばにて試行運用を開始**

●今後の予定

- ・2026年度中
試行運用結果をトレースするため、再度ヒアリング等を実施予定
いただいたご意見を踏まえ、更なるシステム改修/効果検証を行う